



背景は、勝田車両センター

第87号
R5.3.10 発行

■編集・発行
田彦中学区地域づくりの会・広報委員会
TEL.029-274-5222 FAX.029-276-1609
〒312-0063 ひたちなか市田彦950-128
田彦コミュニティセンター内

田彦コミセン



1月31日(火)に田彦中学校区地域で支える生徒指導推進協議会・教育講演会を開催いたしました。

この会は、ひたちなか市教育の日憲章事業の一環として、家庭、地域社会、学校、関係機関、団体等が相互に連携を密にしなが、生徒指導を図ることを目的としています。

今回は、ひたちなか警察署生活安全課、スクールサポーターの石川様、立原様による「学校と地域が協力して進める地域防犯」について、ご講演をいただきました。講演では、茨城県やひたちなか市の犯罪件数や、学校で行う防犯教室、刺殺を使用した不審者への対応を、実演を通して学びました。

後半は、ひたちなか市教育委員会指導課、八木様による「子どもを守る110番の家について」ご講演をいただきました。「子どもを守る110番の家」事業は、今年で24年目

になります。ここでは「子どもを守る110番の家」における、子どもの保護・確認・連絡の仕方などについて学びました。

最後に、地域の中で犯罪や事故が起こりやすい場所について、みんなで話し合い、確認することができました。



田彦中学校区地域で支える生徒指導推進協議会・教育講演会



交通安全大会の開催

安全福祉部会 池田 寛

田彦中学区地域づくりの会では、毎年2月第三日曜日を「交通安全の日」と定めており、2月19日(日)に交通安全大会を開催しました。



昨年は田彦地区内で交通死亡事故が起きています。こうした状況からテーマを高齢者の交通事故防止と子どもの交通安全教室を行いました。

ひたちなか警察署署員による講座は、運動神経診断テストもあり、運転は過信が禁物とのこと。

「急がず、慌てず、左右確認」と「〇〇かもしれない」の予測運転が事故防止の第一歩。

中庭では子ども達が市交通安全課指導員による交通ルールを疑似体験で学びました。これから新入学の児童を迎える所で参加者の熱心な受講風景が印象的でした。

晩秋の湊街をウォーキング

体育部会 阿部 憲司

今回初めて田彦地区を飛び出し、那珂湊地区で開催。小学生、大学生を含む幅広い方々27名が参加。何度も参加されている方や初めての方もいて、関心や興味があ

る人が多いと感じました。

コースは、集合場所のスポーツ&カルチャーしおかげみなど、那珂湊漁港、湊公園、ひたちなか海浜鉄道、那珂湊駅、おさかな市場、しおかげに戻る5km強。休憩は高台にある湊公園。平坦な田彦地区とは異なり少し大変だったかもしれませんが、しかしながら徳川光圀が建てた水戸藩の別邸資資閣の跡地である同公園からは太平洋や那珂川が見渡せ、光圀が現在の兵庫県明石から取り寄せた樹齢約350年の黒松が見事な枝振りを



見せています。

参加者からは、お出掛け気分を味わえた、歩いて見て分ることがあったと言った感想がありました。また、今回の開催でお待ちしています！

キャンドルまつり

田彦東自治会 下田 美穂



キャンドルまつりを田彦東公園で開催。久しぶりの自治会の行事に顔見知りの方々が集いました。子ども達も楽しめる企画でとても嬉しかった。



最初は、「これー」と一つに決めていましたが、「次は色を混ぜてみよう、二層にしてみたい」とアイデアも浮かび、自分で好きな色を選んでキャンドルを作りました。来年もできたらいいね・・・など会話も弾みました。

夜になつてキャンドルに火をともすと、クリスマスと雪だるまになるように並べ方を工夫されてい



秋季運動会開催

堂端自治会 吉田 勉



秋季運動会に参加しました。競技のポウリングに、幅広い世代の方々が集合しました。

プレーヤー全員がハイスコアをめざして競い合いました。各レーンからは歓喜の声や落胆の声とともに聞こえてくる励まし合いの声、普段なかなか話す機会の少ないご近所さんとの会話など、幅広い世代の交流が見られ、大変盛り上がりしました。

今年度も表彰式は行わずプレー終了後に解散、思わぬ入賞に驚かれた方もいたかと思

います。

コロナ感染拡大が落ち着かず心配も多いと思いますが「楽しかった」「またやりたい」との声を聞くことができ、とても楽しいひと時となったのではないのでしょうか。このような機会を通じて、地域の方々の交流や地域コミュニティの広がりの一助になればと思います。



自治会活動に参加して

西大島自治会 武藤 一男



県外から転居して35年目となります。当時の居所付近の様子、田や畑等も多く見られ、現在の風景とは大分違っています。

さて、自治会の体験は、最初は会員として組長の補佐的な業務を、その後、組長(輪番制)の任務もやりました。

4〜5年前に「田彦中学区地域づくりの会」に参加し、文化部会事業に携わりました。その中で研修会・文化教室の他、秋季運動会やコミュニティまつりなどに参加しました。

有意義で楽しい時間が得られました。班長になり微力ながら各組長等のご協力を得ながら地域の皆様方に少しでもお役に立ちますようにこれからも円滑な各種事業運営の推進を考えています。

編集後記

2020年1月に初めてコロナ感染者が確認されたから3年。感染防止対策のもと私達の生活も通常に戻るべく徐々に進んできています。本誌の編集で各活動の写真を拝見する機会があり、マスク越しの笑顔から元気をもらっています。この先、本誌でもマスクの無い皆さんの笑顔をお届けできる日を心待ちにしています。

寄稿いただきました皆さま、ありがとうございました。

勝田車両センター見学会

広報委員 石川 宏

1月14日午前と午後に分かれて行われました。多くの応募があり、抽選によって選ばれた子どもと保護者40人が参加しました。

最初の座学は、施設の歴史や交直流電車車両基地であることが特徴等の説明があり、途中で社員の方も少し驚くような詳しい話もあり子どもから飛び出し、鉄道の知識の豊富さに感心しました。注意事項の説明後にヘルメットと安全チョッキを着用し電車へGO!!

①洗浄体験では、10両編成に乗り、進行し洗剤で汚れ除去。後退で強水圧の大きなブラシの回転を窓越しに見るのは迫力満点。

②庫内見学では、外から見られない車両の機能保全のため床下の



機器類点検・部品交換作業を間近に見て車高の高低を調整する空気バネの難しい説明を子どもも熱心に聞き入りました。

③屋根上見学では、2万ボルトの高圧架線を断路して屋根上点検用通路に登りパンダグラフや交直流切変え機器の見学と特急車両の運転席に座って運転手気分を体験し現場見学は終了です。

終了後の感想は、子どもが難しい話を目を輝かせて聞いていた以上に親もワクワク。将来鉄道会社を希望する子どももいました。真摯な作業姿を間近に見て安全に乗車出来ていると認識を改めた感想もあり、全員が大変満足でした。

ご対応いただきました白土所長はじめ、社員の方々の親切な対応に深く感謝いたします。



第28回 秋季運動会

令和4年12月17日(土) 参加者総勢 237名

- 優勝 田彦東自治会 121.12点
- 準優勝 田彦西自治会 113.28点
- 三位 西大島自治会 108.54点

個人賞は25本。92歳でご参加いただいた方に特別賞が後日贈呈されました。

コロナ禍で何度も開催に向けて協議を重ね開催しました。昨年を上回る参加をいただきました。今年は、「つながる」を合言葉に家族との、友達との、ご近所さんとの、地域とのつながりを感じる大会となりました。

